

スケジュール

内容	地域力向上枠	大学・学生枠	スタートアップ枠
事前相談	5月14日(金) 午後5時まで	8月13日(金) 午後5時まで	随時
申請書類提出	5月21日(金) 午後5時必着	8月20日(金) 午後5時必着	随時
プレゼンテーション(公開) 及び審査委員会	7月上旬を予定	9月下旬を予定	なし
支援事業交付・不交付決定	7月中旬を予定 すべての申請団体に通知	10月上旬を予定 すべての申請団体に通知	随時
事業終了後、 事業報告書を提出	事業終了後1カ月以内(または令和4年3月31日まで)		
成果発表会(公開)	令和4年2月～3月頃を予定		

問合せ先

右京区役所地域力推進室 企画担当

〒616-8511 京都市右京区太秦下刑部町12番地

TEL: **075-354-6466**

メール: ukyo@city.kyoto.lg.jp



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

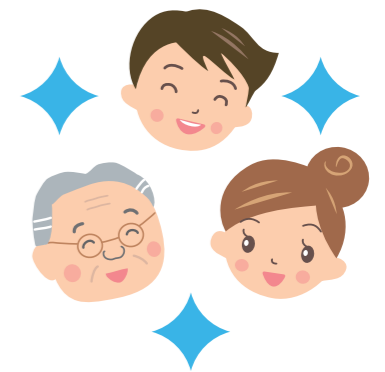
京都市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

右京区

まちづくり 支援制度

令和3年度募集の ご案内

右京区内で取り組むまちづくり活動を助成金等で支援します。地域課題の解決や、地域の魅力向上につながるまちづくり活動を始めたい、そんな想いをお持ちの団体・グループに、ぜひ活用していただきたい制度です。



募集期間

- 地域力向上枠** 令和3年 4月20日(火)～5月21日(金)
※5月14日(金)までに、提出書類一式を作成し、必ず事前相談してください(要予約)
- 大学・学生枠** 令和3年 6月21日(月)～8月20日(金)
※8月13日(金)までに、提出書類一式を作成し、必ず事前相談してください(要予約)
- スタートアップ枠** 令和3年 4月20日(火)から随時受付
※申請前に、提出書類一式を作成し、必ず事前相談してください(要予約)
※予算に到達次第、受付終了

対象となる団体・グループ

地域力向上枠

NPO法人やサークル、町内会などの団体・グループが対象です。

大学・学生枠

京都市内の大学の研究室、ゼミまたは学生を中心に構成される団体・グループが対象です。

スタートアップ枠

これまでに右京区まちづくり支援制度を活用したことがない、初めてまちづくり活動に取り組む団体・グループが対象です。

対象となる事業

団体・グループが令和3年4月1日（木）から令和4年3月31日（木）までに右京区内で実施する、次のいずれかに該当するまちづくり活動が対象です。

- 地域課題の解決に向けた事業
- 地域資源や団体の強みを活かして地域の魅力を高める事業

自ら企画・運営し、誰でも参加できる活動なら分野は自由です。

既に恒例となっている事業、営利活動及び宗教的・政治的な活動を目的とする事業は対象外です。

助成金額

枠区分	交付上限額	交付率	同一事業の交付上限
地域力向上枠	30万円	1/2	2年まで
大学・学生枠	地域協定型※	100%	上限なし
	学生支援型	5/6	上限なし
スタートアップ枠	5万円	100%	1年まで

※「京都市右京区大学地域連携に関する協定」を締結している大学の団体・グループが対象です。

【締結協定校】 京都外国語大学・同短期大学、京都先端科学大学、京都光華女子大学・同短期大学部、嵯峨美術大学・同短期大学、花園大学、立命館大学

- 北部山間地域（京北、宕陰、水尾、高雄）での活動がある場合、公共交通機関の交通費について、上表の交付上限額に加え、5万円を上限として交付します（スタートアップ枠を除く）。

対象となる経費

講師謝礼、旅費、委託料、備品購入費、事務的経費（会場使用料、資料作成費、消耗品費、郵便料金等）

対象とならない経費

- × 人件費
- × 事業全体を外部委託した場合の委託料
- × 汎用性が高すぎる備品（パソコン等）
- × 会議やイベント等での飲食費や記念品・景品代
- × 団体・グループの運営経費 等

提出書類

申請書、計画書、予算書、連携・協力団体一覧、地域住民へのヒアリングシート（大学・学生枠のみ）の様式は、右京区役所のホームページからダウンロードしてください。その他、役員名簿及び団体・グループの規約等を提出してください。



審査方法

地域力向上枠

大学・学生枠

提出書類とプレゼンテーションにより審査します。審査項目は以下のとおりです。

審査項目	審査基準
事業内容の的確性	事業の目的を達成できる事業内容となっている。
地域への愛着・熱意	地域への愛着や、事業実施に対する熱意が感じられ、区民に喜ばれるものとなっている。
アイデア・モデル性	独創性や新規性が見られ、広く区民参加の機会がある取組である。
コミュニティのつながりや広がり	区民や他団体とのつながりができ、新しい仲間の輪が広がる取組である。
事業の自主運営に向けた工夫（地域力向上枠のみ）	事業収入や寄附金の確保など、自立した事業運営を見据えた工夫が見られる。
事業効果の継続性（大学・学生枠のみ）	次年度以降、当該事業の発展的な実施等により、事業効果の継続が期待できる。
予算の使途の的確性	事業の実施に当たって効果的・効率的なものとなっており、他団体や事業者が必要以上に委託しない主体的なものとなっている。

スタートアップ枠

提出書類により審査します。

